

科目名		3DインテリアI			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	コーディネーターの実務に必要な、プレゼンテーションの必要性和技法を学び、3Dインテリアデザイナーの基本操作を習得しコンペ作品等に対応する実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. プレゼンボードの制作のを中心に見せ方、描き方学び、コンペに活かす作品を作る。 3. 条件に則したプレゼンツールの進め方の基本を理解する。				
学習目標 (到達目標)	3Dインテリアデザイナーの基本操作を学びながら、インテリアコーディネートの基本知識とセンスを身に付け、訴求力のあるプレゼンテーションボード、模型制作のテクニックを学びます。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 3DインテリアデザイナーNeo3				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	模型制作ー1 制作工程表の作成 ・グループにて制作工程表を作成する。 ・模型提出締切は11/19			方法：各担当を決めグループで模型制作する。 達成目標：制作工程表 準備学習：前期制作したプレゼンシートの内容を確認する。	
2	模型制作ー2 模型制作 ・必要な各パーツの寸法を確認し、模型素材を決定する。			方法：模型制作に必要な材料を拾い出す。 目標達成：模型制作の手順やスケールをイメージする。	
3	模型制作ー3 模型制作発表 ・プレゼンシートと模型の発表			方法：グループごとに制作した模型について発表し、各作品の評価をする。	
4	店舗併用住宅ー1 コーディネートルールプレイング ・インテリアコーディネーターの役割を学ぶ。 ・条件要望からプランを作成する。			方法：依頼主やコーディネーターとなり、要望・条件について話し合う。配置計画、間取りを考える。 目標達成：店舗併用住宅のエスキス完成	
5	店舗併用住宅ー2 間取りの作成 ・CADデータを読み込み敷地を作成する。 ・部屋配置、間取り作成する。			方法：平面図を下絵に間取りを作成する。CADデータを読み込み、敷地を作成する。 目標達成：各諸室の配置と動線計画について考える。	
6	店舗併用住宅ー3 インテリアエレメントの作成。 ・内外装テクスチャの作成する。 ・家具、窓装飾、照明器具の配置計画			方法：依頼主の要望に沿ったインテリアイメージを考慮し、内外装デザイン、各エレメントの配置をする。 目標達成：独創的アイデアや工夫のあるプランを目指す。	
7	店舗併用住宅ー4 外構の作成 ・駐車スペース、庭、アプローチの作成する。			方法：店舗と住宅の外部動線を意識し外構を作成する。 目標達成：建物全体のバランスを調整しプランを完成する。	
8	店舗併用住宅ー5 プレゼンシートを作成する。			方法：インテリアイメージに沿ったシートデザインを考慮しプレゼンボード作成する。 目標達成：依頼主に訴求力のある内容とする。	
9	店舗併用住宅ー6 課題発表			方法：パワーポイントを使用し、課題について発表する。他の学生課題の評価をする。 目標達成：プレゼンテーション力の向上を目指す。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	平常点	出席率		インテリアデザインコンペの課題制作から実務に必要な訴求力のあるプレゼンテーション力を身に付ける。模型制作では、作品制作の丁寧さは勿論、スケジュールの組立や材料管理なども合わせて行う。模型制作をグループで実施することで、社会人基礎力で求められる計画力や主体性、協調性を高めることを目標とする。	
60 %	30 %	10 %	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務に19年携わる			